

図画工作・美術 ～鑑賞の領域を通して～ 9年間のカリキュラム

	育てたい子ども像	単元 学習活動	つけたい言葉の力・育てたい姿勢
小 1 ・ 2	感じたことや気づいたことを進んで表現しようとする子供	<p>「くしゃくしゃがみからうまれたよ」</p> <p>薄紙を丸めたり、ねじったりしてできた偶然の形を組み合わせながら表現をして楽しむ。</p> <p>「ぶかぶかゆらゆら」</p> <p>水に浮かばせると楽しい材料を選び、つなぎ方や組み合わせを工夫して、水に浮かべたときにおもしろい動きをする遊ぶものを作る。</p>	<p>友達のいろいろな工夫に気付き、その良さや面白さを味わい、ワークシートに書いて発表すること。</p> <p>自分や友だちの活動を見合って、活動のおもしろさや色の感じに気づいて発表すること</p>
小 3 ・ 4	身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取れる子供	<p>「タッチ、キャッチ、さわりごこち」</p> <p>材料の触り心地の違いをたのしんだり、味わったりする。</p> <p>「つながるアートカード」</p> <p>アートカードをつかって、感じたことや思ったことを話し、感じ方の違いや新たな気づきを感じ取る。</p>	<p>感じたことを話したり、友だちと話し合ったりするなどして、感じの違いなどを表現する。</p> <p>感じたことや思ったことを話したり、友だちと話し合ったりする。</p>
小 5 ・ 6	身近にある作品や芸術作品に親しみ、自分の思いを伝え合おうとする子供	<p>「見つけたことを話してみよう」</p> <p>作品から、気づいたことを友だちと話し合う。</p> <p>「瞬間コレクション」</p> <p>写した写真を通して、さまざまなものの見方を発見し、発表し合う。</p>	<p>作品をじっくりと見て、見つけたことや感じたことを発表する。</p> <p>友達の見方や考え方、発想のおもしろさや楽しさを感じながら、発表を聞く。なぜそう思うのかと質問し合う。</p> <p>対象に興味や関心をもって働きかけ、絵の中から見つけた人やものについて、話し合うことを楽しむ。</p>

<p>中 1</p>	<p>自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを味わおうとする生徒</p>	<p>「形と造形」 自然界の造形物や材料から、造形美の基本となる規則性や特性を見出し、「美しさ」の理論的根拠として捉える能力を身に付ける。 「自然からのメッセージ」 風神雷神をテーマにした作品鑑賞を通して、自然を畏怖し、親しむ文化に育まれた美術を味わう。</p>	<p>美術作品や身の回りの造形の中から美しさを見出し、それを適切な形容、専門用語を交えて具体的に発表する。  自然を擬人化した世界観から、情景や現象、心情などを読み取り、自分の考えで作品世界を語る。また、それを文章化しレポートにまとめる。</p>
<p>中 2 ・ 3</p>	<p>自然の造形や美術作品、文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさを味わおうとする生徒</p>	<p>「ゲルニカ」 パブロ・ピカソの芸術家としての変遷を背景にゲルニカを学び、作品表現が作者の人生や価値観に根ざす自由なものであることを理解する。 「日本美術」 京都・奈良の修学旅行に向けて、像や建築、絵画、工芸の歴史、技法、特徴を学び、日本の伝統文化を深く理解する。</p>	<p>固定観念にとらわれずより多角的に作品を鑑賞し、漠然としたイメージを言語化することで、自分なりの考察にたどり着けるようにする。  資料を見ながらそれぞれが感じたこと、気付いたことを発表し合うことで、自力だけでは得られない着眼や発見、語彙を共有し、新しい価値観・表現力を身につけていく。</p>

開進第二小学校      開進第三小学校      開進第三中学校